

令和7年度 外来における在宅療養支援能力向上のための研修実施要項

1. 研修目的

- 1) 外来看護職が講義及び演習によって、地域における自施設の外来が果たすべき役割に基づき、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得する。
- 2) 習得した知識をもとに、外来看護職として在宅療養支援を実践することができる。

2. 学習目標

- 1) 講義を通じて、外来看護を取り巻く現状や国の政策について理解することができる。
- 2) 所属施設の医療機能や地域の実情等から、地域で切れ目ない在宅療養支援を行う上での、自施設が担うべき役割を理解することができる。
- 3) 1) 及び2)を踏まえて、演習によって、在宅療養支援における自身の役割や課題に対する認識を深め、実践力の強化につなげることができる。

3. プログラム

時間	方法	内容	講師
40分	R7.9.1(月)～ 講義1 (eラーニング)	外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく 外来看護職の役割	吉川久美子 (日本看護協会)
40分	講義2 (eラーニング)	外来における在宅療養支援	永田智子 (慶應義塾大学)
40分	講義3 (eラーニング)	在宅療養を支える地域連携とネットワーク	吉田千文 (常磐大学)
40分	講義4 (eラーニング)	在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援	藤井淳子 (東京女子医科大学病院)
40分	講義5 (eラーニング)	在宅療養患者(外来患者)を支える社会資源	松本明子 (聖路加国際病院)
150分	演習 R7.11.22(土) 13:30～16:00	講義:地域の現状や自施設を取り巻く状況等について(20分)	森下 安子 (高知県立大学)
		グループディスカッション:事例検討(130分)	ファシリテーター
		全体共有	研修担当者 ファシリテーター

4. 対象者

- ・ 外来勤務の看護職員
雇用・勤務形態は問わない

5. 定数:30名

6. 受講料(税込み)

会員:4,950円 非会員:14,850円

7. 申込み

高知県看護協会ホームページ▶「Kangonoto」▶「外来における在宅在宅支援能力向上のための研修」からお申し込みください。

* 事前払いとなります。お支払い終了後に受講のための各個人用ID等が、お申し込み時のメールアドレスに、9月1日までに届きます。

* 実施要項を必ずお読みください。

8. 申し込み期間 7月1日(火)～8月1日(金)

9. 研修方法

本研修は、①講義1～5(eラーニングコンテンツの視聴)、②事前課題、③演習で構成されています。

1) 講義1～5(eラーニングコンテンツの視聴)

個別研修として、個人で演習実施日までに日本看護協会が配信するeラーニングコンテンツを視聴する。

- ・ 視聴期間:9月1日(月)～11月7日(金)
- ・ 講義時間:200分(40分×5本)
- ・ 視聴終了後に受講確認表別添2を県看護協会へメール又は郵送で提出する。
提出期限:令和7年11月7日(金)
メールアドレス:kensyu@kochi-kangokyokai.or.jp
件名: I 外来看護職員研修

2) 事前課題

- ・ 講義1～5を受講後、以下のいずれかのテーマで課題を県協会へ提出する。
 - ① 地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について
 - ② 外来看護に関する実践事例
 - ③ 外来における療養支援について自身が感じている課題

・ 事前課題の内容は、原則、①及び②とするが、外来看護の経験が少ないなど、事例の記載が困難と考えられる場合には、①及び③とする

提出書式: 「Kangonoto」から「事前課題記入用紙」をダウンロードし
(A4用紙1～2枚にまとめる)高知県看護協会に提出する。

提出期日: 令和7年11月7日(金)

提出方法: 郵送またはメール

メールアドレス: kensyu@kochi-kangokyokai.or.jp

件名: I 外来看護職員研修事前課題

3)演習

開催日時:令和7年11月22日(土)13:30~16:00

場 所:高知県看護協会

方 法:集合

☆e-ラーニング受講システムより発行された講義1~5(eラーニングコンテンツの視聴)受講証明書を演習日に必ず持参する。

10. 修了証の発行について

e-ラーニング・事前課題・演習全て修了した方に修了証を発行します。

